

# 平成 31 年度 事業計画書

自：平成 31 年 4 月 1 日

至：平成 32 年 3 月 31 日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

## 平成 31 年度 若狭町社会福祉協議会事業計画

### ◇若狭町地域福祉活動計画◇

「みんなで支える幸せプラン」（平成 28 年度～32 年度）基本理念

みんなが支え合い、

すべての人が幸せを感じられる

心地よい<sup>まち</sup>地域づくり

### ◇組織理念◇

1. 私たちは、地域と共に歩みます
2. 私たちは、希望ある未来への礎となります
3. 私たちは、信頼され愛され続けるためにたゆみない努力と挑戦を続けます

地域福祉活動の原点は地域住民の参加にあります。若狭町社協は、その原点を見つめなおし、住民ひとりひとりの力がつながり、大きな輪になるよう活動を支援していきます。そこには、住民からの信頼は欠くことができないと考え、身近な存在としていつでも寄り添いながら、温もりのあるサービスを届けます。また、常に社協は努力と挑戦を続け、地域福祉活動の推進に向けて妥協することなく将来展望を持ちながら前進し、しっかりとした足取りで福祉の土壌を築きます。

### ◇重点目標◇

1. 住民主体による地域福祉活動の推進
2. 地域の福祉ニーズに基づく利用者本位の福祉サービスの実現
3. 組織体制の強化

### ◇スローガン◇

『声をかたちに』

## 法人運営事業

- ◇ 組織強化に取り組めます。
  - ・ 福祉推進の担い手として時代の変化に対応できる組織となるため、理事会や評議員会をはじめ各種会議の活性化に努めます。
  
- ◇ 人材確保に取り組めます。
  - ・ 新卒職員の定期採用を前年度より引き続き実施し人材確保に努めます。またインターンシップの受け入れおよび募集用パンフレットの作成を行い新卒採用の応募増加を目指します。
  - ・ 人事評価制度における評価者の資質向上のための取り組みを行うと共に制度の運用方法見直しを検討し、より公平な評価の実施を目指します。
  - ・ メンタルヘルスケアに関する研修へ積極的に参加し、職員からの相談等に備えるとともに、有用な情報提供を行います。
  - ・ 適性検査を実施し、職員の能力開発を行うと共に各職員の適正に応じた業務分担および人員配置に活用し人材育成を行います。
  - ・ 福利厚生 of 充実について検討します。
  - ・ 安定的な労働力確保のため、外国人労働者の受入れ等も含め方法を検討します。
  
- ◇ 安定した財源確保に取り組めます。
  - ・ 地域福祉センター泉を利活用した新たな事業について、プロジェクト委員会で検討を行います。
  - ・ 既存事業の現状分析を行い、必要性に応じて各事業の経営改善計画の作成や、各事業における適正な人員配置の分析を行います。
  - ・ 中長期的な施設の維持管理を目的とした設備整備積立計画を策定します。
  - ・ 自主財源の活用方法の見直しを行います。

## 地域福祉事業

### <小地域福祉活動推進事業>

- ◇ 地域課題解決のための住民主体の福祉活動への支援を行います。
  - ・ 地域へ出向き住民と意見交換を行う中で、生活課題の把握や解決につながるような取り組みを住民とともに検討する機会を作ります。
  - ・ 小地域福祉活動推進モデル集落を指定し、集落の将来を見据えた福祉活動について住民とともに検討を行います。
  - ・ 小地域福祉活動連絡会を開催し、モデル指定集落が情報交換を行う機会を設けることで、自集落活動の見直しや発展した活動につなげられるように働きかけます。
  - ・ 各関係機関・団体・福祉関係者・企業等とのネットワークづくりを推進します。

### <福祉委員活動推進事業>

- ◇ 福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援を行います。
  - ・ 福祉委員のつどいを実施し、1年目の活動のきっかけを作ります。
  - ・ 福祉委員の役割を周知することで、資質向上を目指します。
  - ・ 関係機関や福祉関係者と連携し協働できるような活動を支援します。

### <ボランティアセンター運営事業>

- ◇ 住民や企業に向けたボランティアセンターおよび災害ボランティアセンターの周知とPRを行います。
  - ・ 出前講座においてボランティアセンターの役割を周知し、住民同士の助け合いの意識を高めます。
  - ・ コーディネート機能を強化することで、ボランティア活動への住民参加を推進します。
  - ・ 企業にサポーター企業への登録を進め、連携体制を作ることで必要時の協力を要請します。
  - ・ 災害ボランティアセンター連絡会協議会員を対象として、メールを使った情報共有を行います。
  - ・ 防災訓練や研修会等に参加し、災害ボランティアセンター立ち上げや運営に関して学ぶことで人材育成、資質向上につなげます。

### <送迎支援サービス事業>

- ◇ 住民のニーズを踏まえた支え合える体制づくりの推進を行います。

- ・ 外出支援サービスや公共サービスでは対応できないニーズに対して、関係機関と協議し、必要な移動手段を検討します。
- ・ 住民との情報共有を通して、車両貸出事業の周知や新たなニーズを調査します。
- ・ 運転手に対し安全運転講習会の受講や正しい操作方法の講習会などを行い、意見交換の機会を作ります。

(外出支援サービス・個人用貸出計画)

(単位：利用人数)

| (上半期) | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 外出支援  | 50  | 50  | 50  | 40  | 50  | 50  | 290 |
| 個人用貸出 | 2   | 2   | 3   | 4   | 4   | 4   | 19  |
| 合 計   | 52  | 52  | 53  | 44  | 54  | 54  | 309 |

| (下半期) | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計  | 総計  |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 外出支援  | 50   | 50   | 40   | 40  | 40  | 50  | 270 | 560 |
| 個人用貸出 | 3    | 3    | 2    | 2   | 2   | 2   | 14  | 33  |
| 合 計   | 53   | 53   | 42   | 42  | 42  | 52  | 284 | 593 |

#### <福祉総合相談事業>

- ◇ 各種相談事業の周知と様々な相談へ対応します。
  - ・ 関係機関や福祉関係者との情報共有や連携強化を図ります。
  - ・ 必要に応じ居宅介護支援事業所パレア若狭および相談支援センターわかさとの事例検討会の実施と連携を図ります。
  - ・ あらゆる相談に対応できるように、情報収集と知識習得に努め相談体制を強化します。

#### <生活困難者支援事業>

- ◇ サービス利用者に合わせた適切な支援を行います。
  - ・ 住民や福祉関係者および多職種との連携を図ります。
  - ・ 必要に応じ居宅介護支援事業所パレア若狭および相談支援センターわかさとの事例検討会の実施と連携を図ります。
  - ・ 契約に基づいた適切な支援を行います。

#### <広報活動>

- ◇ 住民に分かりやすい広報活動を行います。
  - ・ 掲載内容の見直しを行い、旬な情報や最新の情報を住民に分かりやすく伝えます。

- ・ ホームページや SNS を使い情報発信を随時行います。
- ・ 懇談会や出前講座等の場を活用し、広報啓発を行います。

#### ＜介護予防・生活支援＞

- ◇ 福祉用具が必要な方への貸出しを行います。
  - ・ 貸出し用具の把握と関係機関と連携し、適正な対象者に貸出しができていますか随時確認をします。
  - ・ 必要に応じた貸出し用具の整備を行います。

#### ＜共同募金助成金事業＞

- ◇ 集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業に共同募金助成金を活用します。

##### 【一般募金助成金事業】

- ・ 小地域福祉活動推進モデル事業を行います。（モデル集落へ助成）
- ・ きらりアート展を開催します。
- ・ 緊急食糧支援事業に活用します。
- ・ 社協だよりを発行します。

##### 【歳末たすけあい募金助成金事業】

- ・ 障がい者の交流や支援などの活動を行います。
- ・ 歳末たすけあい配食事業を実施します。

## 通所介護事業

- ◇ 安心した在宅生活の継続を目的とした他職種との連携および柔軟なサービスを提供します。
  - ・ 認知症の専門的ケアを身に付け、チームケアの取り組みに努めます。
  - ・ 住民やボランティアと交流をし、地域との関わりを継続出来るよう支援します。

### ＜デイサービスセンターパレア若狭＞

- ◇ 充実した認知症ケアの提供を行います。
  - ・ 認知症実践者研修を受講し、チームケアで認知症の対応ができるよう体制を整え、質の高いサービス提供を行ないます。
- ◇ 地域資源を取り入れた交流を行います。
  - ・ ボランティアの受け入れや地域の方との交流ができる場となるよう、また利用者の活動内容を広く知っていただけるよう開かれた環境づくりを検討します。

- ◇ 利用計画（定員：18 名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期) | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 通所介護  | 291 | 304 | 289 | 309 | 311 | 282 | 1,786 |

| (下半期) | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計    | 合計    |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 通所介護  | 311  | 294  | 281  | 270 | 275 | 283 | 1,714 | 3,500 |

- ◇ 利用計画（定員：7 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計  |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 緩和型 A 型 | 110 | 121 | 110 | 124 | 125 | 115 | 705 |

| (下半期)   | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計  | 合計    |
|---------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 緩和型 A 型 | 118  | 121  | 116  | 105 | 106 | 122 | 688 | 1,393 |

<デイサービスセンターいずみ>

◇ 機能訓練の充実を図ります。

- ・機能訓練や身体介護に重点をおいたサービスを提供し、健康寿命を伸ばしながら住み慣れた自宅や地域で安心して生活出来るようサポートします。

◇ 地域交流の充実を図ります。

- ・地域の中で「いつでも集える場所」として身近に感じてもらい、支え合う関係性を築いていきます。

◇ 認知症の理解を深めた柔軟な対応の提供を行います。

- ・積極的に認知症実践者研修に参加し、認知症の理解を促進すると共に認知機能の維持・向上に努めます。

◇ 利用計画（定員：18 名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期) | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 通所介護  | 255 | 260 | 267 | 279 | 305 | 302 | 1,668 |

| (下半期) | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計    | 合計    |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 通所介護  | 310  | 287  | 274  | 265 | 260 | 259 | 1,655 | 3,323 |

◇ 利用計画（定員：7 名、営業日：火曜日・金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計  |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 緩和型 A 型 | 46  | 46  | 50  | 48  | 48  | 42  | 280 |

| (下半期)   | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計  | 合計  |
|---------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 緩和型 A 型 | 50   | 48   | 48   | 44  | 44  | 48  | 282 | 562 |

<デイサービスセンター五湖の郷>

◇ 地域に根差した運営を目的にボランティアを積極的に受入れます。

- ・地域住民やボランティアが立ち寄りやすい環境を作り、事業所の活動を知って頂ける企画を実施します。

◇ 認知症の専門的知識を習得した質の高いサービスを提供します。

- ・認知症実践者研修を受講し、チーム内の認知症の理解を高め、サービスの向上につなげます。



◇ 重度の方の受入れを強化します。

- ・ 重度の方の受入れを積極的に実施し、在宅生活の継続を支えられる環境を整備します。

◇ 利用計画（定員：18 名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期) | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 通所介護  | 320 | 320 | 320 | 325 | 336 | 336 | 1,957 |

| (下半期) | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計    | 合計    |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 通所介護  | 336  | 332  | 324  | 313 | 313 | 325 | 1,943 | 3,900 |

◇ 利用計画（定員：5 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 緩和型 A 型 | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 24 |

| (下半期)   | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計 | 合計 |
|---------|------|------|------|-----|-----|-----|----|----|
| 緩和型 A 型 | 4    | 4    | 4    | 4   | 4   | 4   | 24 | 48 |

## 居宅介護支援事業所パレア若狭

- ◇ 主任ケアマネジャーを配置します。
  - ・ 主任ケアマネジャー対象研修への参加、法定研修におけるファシリテーターとしての参加等、更新に必要な研修への参加を行います。
  - ・ 法定研修等における実習受け入れと人材育成への協力体制の整備を継続します。
  - ・ 他ケアマネジャーへの支援、相談しやすいチームづくりを行い、各自が質の高いケアマネジメント、ケアプランの作成を支援する研修などを企画・開催します。
  - ・ 福祉相談窓口としての役割を住民の方に知って頂ける様に窓口の周知を行います。
  
- ◇ ケアマネジャーの資質向上を図ります。
  - ・ 介護支援専門員更新研修等、各自必要な研修に参加し、資質向上に努めます。
  - ・ 事業所内外での専門研修への参加を行います。
  - ・ 利用者情報やサービス提供上の留意事項伝達等を目的とした定期的な会議の開催をします。
  - ・ 障害サービスや、利用者に必要な制度等の勉強会の実施と参加を行います。
  
- ◇ 地域福祉事業、小規模多機能ホーム、障がい者相談支援センターとの連携を強化します。
  - ・ 相談支援センターわかさ、地域福祉事業との事例検討会を行う等、利用者に必要な支援につながる様、連携を行います。
  - ・ 小規模多機能ホームや地域の社会資源等、利用者の生活を考慮した適切なサービスを紹介します。

### ◇ 利用計画（1 か月あたり平均要介護利用者 141 名）

(単位：延利用者数)

| (上半期)  | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 居宅介護支援 | 141 | 141 | 143 | 143 | 143 | 143 | 854 |

| (下半期)  | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計  | 合計    |
|--------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 居宅介護支援 | 143  | 143  | 141  | 141 | 140 | 140 | 848 | 1,702 |

## 相談支援センターわかさ

- ◇ 福祉、医療、行政等関係機関との連携を強化します。
  - ・生活介護や就労支援事業所とは連絡を密にとるとともに、病院や居宅介護支援事業所とも積極的にカンファレンスや担当者会議に参加し、必要な情報交換を行います。
  - ・自立支援協議会や研修等へ参加し、知識の向上を図るとともに関係者との情報共有を行います。
- ◇ 総合相談窓口としての機能充実を目指します。
  - ・定期的なケアマネジャーの事例検討会等への参加、必要時には地域福祉事業との情報共有や相談を行います。
  - ・他制度の勉強会への参加等知識習得を目指し、利用者に必要な制度やサービスの紹介を行います。

### ◇ 利用計画

＜特定相談支援事業＞ 計画 31 件、モニタリング 121 件

(単位：延利用者数)

| (上半期)  | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 特定相談支援 | 16  | 7   | 12  | 11  | 14  | 16  | 76 |

| (下半期)  | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計 | 合計  |
|--------|------|------|------|-----|-----|-----|----|-----|
| 特定相談支援 | 17   | 8    | 12   | 11  | 13  | 15  | 76 | 152 |

＜障害児相談支援事業＞ 計画 15 件、モニタリング 53 件

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 障害児相談支援 | 6   | 2   | 9   | 7   | 3   | 8   | 35 |

| (下半期)   | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計 | 合計 |
|---------|------|------|------|-----|-----|-----|----|----|
| 障害児相談支援 | 6    | 2    | 9    | 7   | 0   | 9   | 33 | 68 |

## 生活支援ハウス

- ◇ 高齢者が安心して健康で明るい生活を送るための活動を支援します。
  - ・入居者と家族の生活形態に伴う多種多様なニーズに対して、出来る限り希望に添えるよう対応していきます。
  - ・入居者の身体状況に応じて、地域資源や各種サービスを活用してもらい、退居後の在宅生活が安心して送れるように支援していきます。
  - ・様々な行事を実施し、他の入居者との交流や心身機能の維持・向上が図れるようなサービスの提供をしていきます。
- ◇ 各関係機関との連携強化による適切な運営を行います。
  - ・福祉課や地域包括支援センターと連携をとり、入居希望者がスムーズに利用できるよう努めていきます。
  - ・居宅介護支援事業所や医療機関などと連携を図り、入居希望者の対応や居室の有効活用に努めていきます。
  - ・短期入居希望者については、内部判定委員会での判定を行い、多様なニーズに合わせ幅広い入居者の受け入れを行います。
  - ・空床が多くなる春から秋にかけても、多くの住民の方に利用して頂ける様、ポスターや社協だよりを活用し、周知を行います。
- ◇ 今後の運営体制について検討します。
  - ・今年度より引き続き指定管理期間が継続となり、多様化するニーズに沿った事業が実施できるように協議していきます。

- ◇ 利用計画（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 生活支援ハウス | 215 | 231 | 230 | 241 | 310 | 201 | 1,428 |

| (下半期)   | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 小計    | 合計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 生活支援ハウス | 204 | 188 | 259 | 365 | 348 | 267 | 1,631 | 3,059 |

## ホームヘルプサービスいずみ

- ◇ 中重度対応、障がいヘルプ対応を強化します。
  - ・利用者の症状について医療職との連携を積極的に行います。
  - ・自立支援、重度化防止の重要性を意識しリハビリテーション職との連携を深めます。
- ◇ 訪問介護に求められるニーズに寄り添ったサービス提供と人材確保を目指します。
  - ・認知症高齢者の在宅生活を維持するために、専門的立場として地域社会との交流・連携・情報交換を行い、利用者や地域住民が安心した生活が送れるよう適切で迅速なサービスを提供します。
  - ・人材を確保し、緊急時の速やかな訪問にも対応できる体制を整えます。
  - ・多職種連携を行い信頼しあえる関係を築き、利用者によりよいサービス提供を行います。
  - ・サービス提供責任者の役割を強化します。

- ◇ 利用計画 (営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く)  
(単位：延利用者数)

| (上半期)         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 訪問介護(介護)      | 770 | 760 | 760 | 740 | 740 | 744 | 4,514 |
| 緩和型 A 型       | 38  | 38  | 45  | 45  | 45  | 45  | 256   |
| 訪問介護<br>(障がい) | 55  | 55  | 55  | 60  | 60  | 60  | 345   |

| (下半期)         | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 小計    | 合計    |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 訪問介護(介護)      | 710 | 710 | 700 | 650 | 650 | 650 | 4,070 | 8,584 |
| 緩和型 A 型       | 45  | 40  | 40  | 38  | 37  | 37  | 237   | 493   |
| 訪問介護<br>(障がい) | 57  | 55  | 50  | 50  | 50  | 50  | 312   | 657   |

## 訪問看護ステーションわかさ

- ◇ 各関係機関、他の事業所との連携を強化します。
  - ・地域のサロンや社協内外の事業所へリハビリについての助言や指導を行い、住民や利用者の機能維持の貢献に努めます。
  - ・レイクヒルズ美方病院と連携医療機関の提携を結び、地域包括ケアシステムの構築に向けて支援体制に貢献します。
- ◇ スタッフの質の向上に努めます。
  - ・研修に積極的に参加し、新しい知識や技術を習得できるよう自己研鑽します。
  - ・医療機関からのスタッフの研修や看護学生の実習を受け入れ、互いの専門職としての動向や専門性を理解する事で訪問看護の推進やスタッフの資質向上を図ります。また、リハビリ学生受け入れ準備を行い次年度以降の受け入れ態勢を整えます。
- ◇ 24時間対応を継続して行います。
  - ・スタッフの充実、定着、チーム力の強化に努めます。
  - ・在宅での看取り、医療と介護の連携を深め在宅サービスの充実を図ります。
  - ・緊急時の連絡先を増加し24時間対応を強化します。
- ◇ 健全な経営を行うため、策定した経営改善計画を遂行します。
  - ・事業の啓発に努め新規獲得に繋がります（地域、他の事業所や関係機関との連携）。
  - ・訪問体制を柔軟に調整し態勢を整え実績の向上を図ります。
  - ・異常の早期発見や対応に努め、入院期間の短縮を図り実績の確保に繋がります。

- ◇ 利用計画（営業日：月曜日～金曜日 ただし祝日、年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期)    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 訪問看護(予防) | 47  | 51  | 55  | 55  | 63  | 67  | 338   |
| 訪問看護(介護) | 352 | 368 | 372 | 384 | 384 | 396 | 2,256 |
| 訪問看護(医療) | 112 | 116 | 104 | 116 | 120 | 132 | 700   |

| (下半期)    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計  | 合計  |
|----------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 訪問看護(予防) | 67  | 67  | 67  | 67 | 67 | 67 | 402 | 740 |

|          |     |     |     |     |     |     |       |       |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 訪問看護(介護) | 388 | 392 | 396 | 400 | 388 | 392 | 2,356 | 4,612 |
| 訪問看護(医療) | 124 | 124 | 108 | 104 | 108 | 112 | 680   | 1,380 |

## 生きいきふれあい館

- ◇ より多くの住民の方に利用していただけるよう、介護予防および、地域交流、世代間交流の場等、全世代の公共施設としての利用促進を図ります。

### ◇ 利用計画

(単位：延利用団体数)

| (上半期)         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 小計  |
|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 生きいき<br>ふれあい館 | 60 | 65 | 55 | 65 | 50 | 65 | 360 |

| (下半期)         | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計  | 合計  |
|---------------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 生きいき<br>ふれあい館 | 70  | 75  | 80  | 85 | 85 | 85 | 480 | 840 |

## 葬祭事業

- ◇ サービスの向上を目指します。
- ・ 故人様の安らかな旅立ちを願い、ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて見送りの手伝いを行います。
  - ・ 施設見学の受入や施設周辺清掃ボランティアを積極的に受け入れ、地域に根ざした施設運営に努めます。

## コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援B型）

- ◇ 障がい者の就労も町内外の企業と連携できる事業所を目指します。
  - ・ 町内外の企業から安定した作業内容を確保する事で安心して利用できる事業所を目指します。
  - ・ 利用者が自ら生産できる自主製品の種類拡大を図ります。
- ◇ 町内企業や三方駅周辺施設の情報発信場所として利用してもらえる施設を目指します。
  - ・ 町内企業や周辺施設のチラシやポスターを掲示する事でイベント等の周知を図ります。
  - ・ 町内企業の職員が打ち合わせ等で気軽に利用できる施設を目指します。
  - ・ 観光客へ情報発信ができる施設を目指します。
- ◇ 就労支援事業所として健全な経営を行うため、経営改善計画を見直します。
  - ・ 新メニューの考案や、ランチバイキング等のイベントを充実していきます。
  - ・ 広域に自主製品が販売できるよう商品の改良に努めます。

- ◇ 利用計画（定員：20名 営業日：月～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期)  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 就労継続支援 | 247 | 263 | 232 | 259 | 252 | 247 | 1,500 |
| カフェ    | 709 | 587 | 503 | 640 | 760 | 454 | 3,653 |
| 売店     | 487 | 602 | 358 | 363 | 330 | 256 | 2,396 |

| (下半期)  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 小計    | 合計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 就労継続支援 | 238 | 263 | 229 | 231 | 232 | 252 | 1,445 | 2,945 |
| カフェ    | 566 | 566 | 432 | 330 | 450 | 454 | 2,798 | 6,451 |
| 売店     | 348 | 322 | 287 | 182 | 151 | 135 | 1,425 | 3,821 |



## 小規模多機能ホーム

- ◇ 利用者と地域の関係を深める事を目的とした事業所交流および連携による地域交流の活性化を図ります。
  - ・ 3つの事業所が連携したシフトを組むことにより、過不足のない職員体制を臨機応変に整えられる仕組み作りに努めます。
  - ・ 利用者のニーズを加味しながら、通いの回数の均等化を図り公平なサービス提供を目指します。
  - ・ 地域の資源となる方たちとの関わりを定期的に持ち、連携を強化することで地域の中での、その人のこれまでの暮らしを支えます。

### <小規模多機能型居宅介護ほたる熊川宿>

- ◇ 地域住民と連携した利用者と地域とのつながりが途切れない支援の強化を目指します。
  - ・ 地域の方も参加できる行事を企画し、行事を通じて地域の方との交流が図れるように努めます。
  - ・ 定期的に行われているサロンに職員が出向き、健康チェックや運動などの支援を行います。
  - ・ 4月から広報誌を年4回発行します。
- ◇ 一人ひとりのニーズに合わせた柔軟な対応を行えるサービスを提供します。
  - ・ 各行事などの際には積極的に体験利用も実施していき、ほたるの利用に繋げていきます。
  - ・ その人の必要としているニーズに対応できるよう、職員間の情報共有を強化し、質の高いサービス提供に努めます。

### ◇ 利用計画（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

| (上半期)           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 小計 |
|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 小規模多機能型<br>居宅介護 | 12 | 13 | 13 | 14 | 14 | 14 | 80 |

| (下半期)           | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計 | 合計  |
|-----------------|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
| 小規模多機能型<br>居宅介護 | 13  | 12  | 11  | 11 | 12 | 12 | 71 | 151 |

### <小規模多機能型居宅介護みさき>

- ◇ 地域の方が気軽に立ち寄れる福祉相談窓口としての場所作りを目指します。

- ・ 地域の方を招いての施設内での交流会や干物作りを定期的に行います。
- ・ 干物作りや外出行事の時に地域住民の方に協力していただき関係を深めます。
- ・ みさき通信を通じて、福祉相談窓口としての機能について情報提供していきます。

◇ 地域医療との連携を強化します。

- ・ これまでの暮らしを支えるために体調面での不安を軽減できるよう、細かな変化や状態を医療機関に伝え健康状態を維持できるよう連携を取ります。
- ・ 在宅生活を続けるための健康面での問題や対応について迅速に対応できるよう往診時や受診時に付き添いや同席します。

◇ 利用計画（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

| (上半期)           | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 小規模多機能型<br>居宅介護 | 13  | 13  | 13  | 14  | 13  | 14  | 80 |

| (下半期)           | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計 | 合計  |
|-----------------|------|------|------|-----|-----|-----|----|-----|
| 小規模多機能型<br>居宅介護 | 14   | 12   | 12   | 13  | 13  | 13  | 77 | 157 |

<小規模多機能型居宅介護きやま虹の家>

◇ 地域の方々との交流を深めます。

- ・ 行事をはじめ日常においても、小学生や地域の方々に気軽に立ち寄っていただき、地域の中の福祉拠点として交流を図ります。

◇ 得意なことを活かし、笑顔の生活を支えます。

- ・ 炊作業、調理や縫い物、脳トレなど得意なことを活かし、機能訓練を図りながら充実した生活を過ごしていただきます。
- ・ 町内外への外出で楽しみを共有し、生き生きとした活動を支援します。

利用計画（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

| (上半期)           | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 小規模多機能型<br>居宅介護 | 15  | 15  | 15  | 16  | 16  | 16  | 93 |

| (下半期)           | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計 | 合計  |
|-----------------|------|------|------|-----|-----|-----|----|-----|
| 小規模多機能型<br>居宅介護 | 15   | 15   | 15   | 14  | 14  | 14  | 87 | 180 |

### 介護予防拠点施設五湖の郷

- ◇ 地域交流の場としての機能を強化します。
  - ・ 五湖カフェを中心に、地域住民の交流の場づくりに取り組みます。また、カフェに合わせたイベントを開催し、交流の促進を図ります。
  - ・ 第 2 回梅の里夏まつりに実行委員会から参加し、交流の場づくりや地域とのつながりの強化に努めます。
  - ・ 五湖の郷が地域住民にとって身近な施設となるよう施設利用（貸館）を推進します。
- ◇ ボランティア活動を推進します。
  - ・ 五湖カフェボランティアグループの活動が継続・発展するよう支援します。
  - ・ 施設管理や各事業運営での積極的なボランティア受け入れを行います。
- ◇ 福祉学習を推進します。
  - ・ 保育園や小学校、公民館との連携し福祉教育の推進を図ります。

## 特別養護老人ホーム五湖の郷

- ◇ 入居者の個性や生活リズムを尊重した暮らしの支援を目指します。
- ・ 24 時間シートを充実させ、生活の継続性を図ります。
  - ・ 各研修に積極的に参加し、職員の意識改革、スキルアップを図ります。
  - ・ ユニット毎に目標をたて、事例発表を行いサービスの質の向上に努めます。

- ◇ 利用計画（定員：29 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

| (上半期)         | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 特別養護<br>老人ホーム | 853 | 881 | 853 | 881 | 881 | 853 | 5,202 |

| (下半期)         | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計    | 合計     |
|---------------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|--------|
| 特別養護<br>老人ホーム | 881  | 853  | 880  | 880 | 824 | 881 | 5,199 | 10,401 |

## 高齢者ショートステイ五湖の郷

- ◇ 家庭の延長として利用者の生活リズムに合わせた暮らしの継続を目指します。
- ・ 余暇活動を充実させ、利用する目的や楽しみ作りに努めます。
  - ・ 家族と情報連絡を密に、安心して預けられるサービス提供と介護負担の軽減に努めます。
  - ・ 事例発表の場を設けサービスの質の向上に努めます。

- ◇ 利用計画（定員：10 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

| (上半期)          | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 高齢者ショートステイ(予防) | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 3   | 3     |
| 高齢者ショートステイ(介護) | 255 | 263 | 255 | 263 | 264 | 252 | 1,552 |

| (下半期)          | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計    | 合計    |
|----------------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 高齢者ショートステイ(予防) | 3    | 3    | 4    | 4   | 3   | 0   | 17    | 20    |
| 高齢者ショートステイ(介護) | 261  | 252  | 260  | 260 | 242 | 264 | 1,539 | 3,091 |

## 認知症対応型グループホーム五湖の郷

- ◇ 施設活動を地域住民とともに行います。
  - ・ グループホーム運営推進会議を情報交換の場にとどめず、活動を通じてグループホームと関わりを持ってもらい、認知症の理解促進に繋がります。
  - ・ 事業所周辺地域だけでなく、利用者が住んでいた地域とのつながりを継続していきます。
  
- ◇ 地域のニーズに応じるため、職員の専門性を高めます。
  - ・ 認知症専門職として計画的に知識や技術を学ぶ機会を持ちます。
  - ・ チーム力の向上を心がけ、事業所外の関係者とも連携を取れる体制を作ります。

### ◇ 利用計画（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| グループホーム | 267 | 276 | 268 | 276 | 275 | 269 | 1,631 |

| (下半期)   | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 小計    | 合計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| グループホーム | 277 | 268 | 277 | 271 | 258 | 278 | 1,629 | 3,260 |

## 障がい者日中活動支援施設

- ◇ 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化を目指します。
  - ・ 個々の障がいの特性に応じたレクリエーション活動を行います。そして、利用者のニーズに沿った対応を試みます。また希望に応じて、リハビリ要素を組み込んだ機能訓練や作業活動を展開します。
- ◇ 地域の方に対して障がい者理解の促進に努めます。
  - ・ レクリエーション活動に参加してくださる地域ボランティアの受け入れを行います。また、利用者自身が地域に出ていき、地域の方と関われる機会がもてるような野外活動を実施していきます。

### <障がい者デイサービス事業（生活介護）>

- ◇ 個々のニーズに応じたサービスを提供し、支援強化を目指します。
  - ・ 利用者の能力を維持・向上するために、短期目標・長期目標を掲げて支援に取り組めます。
  - ・ 生産活動をやりがいを感じている利用者については、これまで以上に多くの時間を生産活動にあてられるように環境を整えていきます。

- ◇ 利用計画（定員：20 名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期) | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 生活介護  | 270 | 270 | 270 | 270 | 275 | 276 | 1,631 |

| (下半期) | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計    | 合計    |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 生活介護  | 270  | 270  | 265  | 260 | 260 | 260 | 1,585 | 3,216 |

### <日中一時支援事業>

- ◇ 十分な職員体制を整え希望通りに利用できるよう努めます。
  - ・ 放課後デイサービスの利用者希望や長期休暇スクールの開設時には、職員の勤務体制を変更しながら、利用者や家族の要望に沿ったサービスを提供します。

- ◇ 利用計画（定員：1～4 名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

| (上半期)  | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合計  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日中一時支援 | 50  | 50  | 50  | 70  | 80  | 50  | 350 |

| (下半期)  | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 小計  | 合計  |
|--------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日中一時支援 | 50   | 50   | 65   | 57  | 50  | 50  | 322 | 672 |



## 障がい者ケアホーム五湖の郷

- ◇ 余暇を中心とした個別支援により生活の質の向上を目指します。
  - ・ 個々の生活する力を伸ばすためにも、移動支援事業を利用して個別のニーズに対応しながら、集団での行事にも力を入れていきます。
  - ・ 内部研修に力を入れ、各職員が利用者のニーズを明確にできる力を付け、更にそのニーズをチームで支援ができる力を付けていきます。

### <ケアホーム事業>

- ◇ 利用者が住み慣れた場所で、できる限り長くいきいきと生活できるように支援します。
  - ・ 利用者の状態に合わせて、他のサービスと連携しながら支援していきます。
  - ・ 移動支援事業を提供し、趣味や余暇など生活の質の向上にも努めます。
- ◇ 利用者への相談等の対応や余暇支援を充実させます。
  - ・ 外部のヘルパーに身体介助等を依頼することにより、更にケアホーム職員が利用者の悩み等の相談や余暇の支援ができる時間を作ります。

- ◇ 利用計画（定員：7名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

| (上半期) | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| ケアホーム | 201 | 203 | 202 | 207 | 210 | 196 | 1,219 |

| (下半期) | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 小計    | 合計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| ケアホーム | 205 | 198 | 195 | 195 | 195 | 210 | 1,198 | 2,417 |

### <障がいショート事業>

- ◇ 利用者が希望する日に利用でき、家族の緊急時にも受け入れができるように体制を整えていきます。
  - ・ 相談支援事業所や他のショートステイ事業所と連携し、受け入れに関する調整が事業所を超えて行えるようにしていきます。

- ◇ 利用計画（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

| (上半期)   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 小計  |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 障がいショート | 32 | 33 | 32 | 33 | 32 | 32 | 194 |

| (下半期)   | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計  | 合計  |
|---------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 障がいショート | 33  | 32  | 31  | 32 | 32 | 33 | 193 | 387 |

<移動支援事業>

- ◇ より多くの方に利用していただけるようなサービスにしていきます。
- ・ より使いやすいサービスにするために、平日のみの稼働日に加え土曜日についても受入れを行います。
  - ・ 障がいデイサービスと連携し、更にサービス提供者を増やしていきます。その上で必要な資格取得も積極的に行っていきます。

◇ 利用計画（営業日：月曜日～土曜日）

(単位：延利用時間数)

| (上半期) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 小計  |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 移動支援  | 18 | 42 | 43 | 43 | 38 | 30 | 214 |

| (下半期) | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計 | 合計  |
|-------|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
| 移動支援  | 30  | 16  | 8   | 4  | 16 | 20 | 94 | 308 |

## 五湖の郷食事サービス

- ◇ 安心・安全な食事作りに努めます。
  - ・ 衛生管理の徹底を図ります。
  - ・ 日々進化する情報を見逃さず、意識向上のために積極的な研修の受講に努めます。
  - ・ 健全な運営を目指すとともに、できるだけ地産地消を目標に、安心できる食材を使用します。
  
- ◇ 新しい食事提供内容を模索し、既存の施設および設備の活用方法の検討に取り組んでいきます。
  - ・ 個々のニーズに合った食事形態や提供内容の変更に素早く対応し、利用者や、お世話をする人の気持ちに寄り添う対応を常に心掛けます。
  - ・ 施設の設備を有効に活用できる様、要望を聞きながら検討していきます。